

指導教員名

山川拓也

活動区分

地域活性化型

連携先

自治体・国

～ 加東市との社会共創プログラム ～

活動の様子



取り組む課題

同市を訪れる観光客により長く滞在して域内での消費を活発に行ってもらうための施策を学生の視点から考案する。



本学(学生)の役割

6月にフィールドワークを実施し、現地でしか得られない情報や体験を踏まえたうえで、8月の中間発表に向けて各グループごとに調査・企画を立案する。その上で、9月下旬～10月上旬頃に関係者への最終発表を行う予定である。

企画・活動概要

兵庫県加東市の活性化ならびに地域課題を解決することを目指す学内プロジェクトとして、加東市との合意に基づき、「観光」を通じた地域産業の活性化施策を提案する。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

今回の教育成果としては、観光の実体・実相をステレオタイプ的にイメージ化されたレンズで認識することを超え、これまでとは異なるレンズで視野広く捉えるといった「クリティカル・シンキングの基礎」・「観光マーケティングの方法論」を身に付けることができたのではないかと考えている。最終発表による審査の結果、山川ゼミ3チーム中の2チームが「最優秀賞」と「商工会賞」を受賞した。



経緯・背景・目的

本学では、企業だけでなくさまざまな地域・自治体との社会共創プログラムに取り組んでおり、今年度は新たに兵庫県加東市との連携企画を始動させた。4月に概要説明を受けた後、学生らはフィールドワークで同市内の観光スポットなどの調査を行い、おのおのの提案をブラッシュアップしてきました。最終研究発表会当日は、流通科学大学および関西国際大学それぞれのゼミで構成された14チームが、これまでの現地調査やマーケティング・観光の知識を生かし、学生ならではの視点で「観光」を通じた地域産業の活性化施策を提案した。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
観光学科
准教授
山川拓也(ヤマカワタクヤ)

<専門・担当科目等>
観光経済学、
観光マクロマーケティング、
観光消費文化論

<関係者・企業等>

加東市